



社協伴東

発行 伴東学区社会福祉協議会 (☎ 849-0375) 編集 広報部会

桜が咲き、あじさいも咲くなど、自然界では何の変化もなく爽やかな景観を呈しておりますが、人間社会では新型コロナウイルスで激変しており、当会でも、3月から全ての事業計画を中止せざるを得なくなっております。

外国の政治家が「社会をつなぐ共感こそ、混迷の時代を生きる糧となると思う」と云つておられます。このような時こそ、病魔の終息後は、心豊かで生きがいのある生活の実現に向けての取り組みが求められています。



桑原一之会長

令和2年度 伴東学区社会福祉協議会 評議員会が書面にて開催される

令和2年度評議会は、「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、6月書面にて審議されました。

現在の厳しい現状を、一人ひとりが抱える問題として受け止め、「地域共生社会の実現」をめざして、チャレンジすることが大切とします。

本年度の当協議会の活動方針としては、「人間関係の絆と、信頼と互助」のもと

①安全な町づくりの一環として「ゾーン30」の設置

②ボランティアセンター運営の推進

③関係団体との連携をより一層深めることを主体として推進していくことを主体として推進していく

きたいと考えておりますので、皆様方のご理解と一層のご協力をお願い申し上げます。

【下向町内会】
滝村文枝 様【大原台町内会】
長谷川英美子 様

評議員会表彰

永年に亘り【子どもの見守り】を続け地域の交通安全及び地域児童の健全な育成に貢献されました。

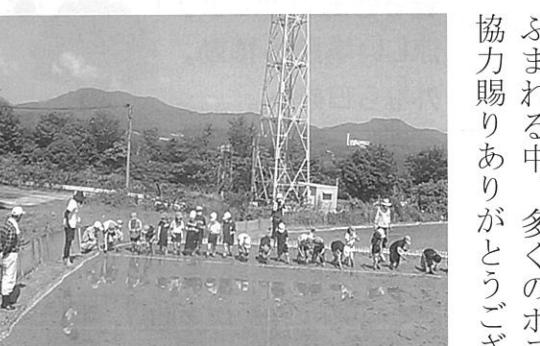
正式名称は（正一位稻荷大明神）ですが、おいなりさんの愛称で親しまれ、下向の氏神として崇拝されています。岡崎神社の末社といわれていますが、京都の伏見大社の系統で主神は（うがのみたまのおおみかみ）で神樂（ヤマタノオロチ）でオロチをたいじする須佐之男命の子どもです。五穀豊穣、願望成就、商売繁盛、芸上達等を祈念する神様とされています。下向地区は火山の豊富な水資源で稻作がさかんでした。そこで「稻」を祈念する意味で勧請されたと伝わっています。1800年代初め現代のパーキング上り線の付近に建てられ、大正二年ごろ移されました。毎年十月初めの土日秋祭りが行われています。



歴史探訪「神社編④」 〈下向稻荷神社〉

伴東小学校五年生田植え体験

6月2日松宗町内会森川様の田園で恒例となっている、伴東小5年生75名の田植え体験実習が行われました。JA技師3名と下向町内会より12名の指導応援を受け、二組に分かれていけ、一時間半で無事終わりました。



ほとんどの児童は初の体験で、泥に足を取られ動けなくなるものもあり、和気あいあいと楽しく充実した体験をすることができました。秋の稻刈りを楽しみに、ほとんど田園がなく貴重となつた今年もご提供いたしました。森川（森川石油店）様に感謝して学校に帰りました。

コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれる中、多くのボランティアに協力賜りありがとうございました。



沼田サプライズ花火

新型コロナウイルス感染対策として自粛生活を続ける地区民に少しでも元気になって欲しいと、有志の方が沼田地区サプライズ花火打ち上げ実行委員会を立ち上げ5月22日から24日に花火の打ち上げが実行されました。

伴東地区は24日午後8時から5分間に沼田高校方向にて19発打ちあげられました。花火は顔を上向きにする力があり、前向きに進もうと希望を持つことができます。

企画から資金集め、花火の購入、打ち上げと全てを地元有志の方が行われたことに皆様感謝の気持ちを持たれたことでしょう。

大雨による災害が各地で発生し、他人事ではありません。また「新型コロナウイルス」による自粛生活は新生活様式を求めていました。このような時だからこそ、人との絆を深め、自助、公助、共助の精神を養いたいものです。

編集後記

本年度当初より「新型コロナウイルス」感染拡大防止のために、行事等が中止を含め、大幅な変更を余儀なくされています。評議員会で承認されました予算は、予定の執行をすることは困難となっています。また、各町内会及び自治会における盆踊り、サマーフェスティバル等も中止となっています。



